

# 2024年度事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

認定特定非営利活動法人こども∞感ぱにー

ビジョン：子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに

ミッション：どんなときも子どもの可能性を信じる大人であり続けます

子ども心と勇気を持って、子どもが安心して過ごせる環境を地域とともに創造し続けます

## 1.活動のまとめ

設立から11年間で見てきた子どもや地域課題に向き合い、それを形にしようと動き始めた年だった。プレーパークわたのはを渡波中学校区内に移転し、子どもだけでなく、地域住民や保護者、民間の専門職の人たちが『地域の子どもは地域で見守り育てる』を合言葉に子どもの成長を日常的に支える、中長期的な新たな拠点づくりである。

一方、事業展開で走り続けてきた組織運営体制の大きな転換期を迎え、持続可能な組織づくりへの見直しを図る年でもあった。人材雇用や育成の見直しと共に、助成金に頼らない資金調達方法を本格的に考え実行するための準備を始めた。

まだまだ課題はあるが、本会のビジョン・ミッションの実現のために大きく飛躍する一步を踏み出し始めた。

### 《重点目標》 2024年度事業計画からの報告

#### ●プレーパークとフリースクール事業の新たな拠点設置

渡波中学校区にプレーパークの新拠点を設置し、現在のプレーパークから移転する計画は、2024年度に農地だった土地約500坪を雑種地に農地転用し3月に転用許可がおりた。これにより、2025年夏から新拠点でのプレーパークが始動する。それに伴い新拠点に従事するスタッフ2名を雇用した。近年中にフリースクールを同地区に移転することで双方の利用者が行き交い、顔の見える関係性が生まれる一つの拠点となる。

#### ●行政・教育機関との連携

石巻市内の『子どもの居場所』増加に向けた行政との意見交換の結果、2025年度より石巻市教育委員会雇用の学習支援員の配置が決定した。

また、石巻市教育支援センターと『不登校』児童生徒の情報共有に続き交流事業が実現し、連携体制の構築ができつつある。

#### ●組織基盤強化と資金調達

2023年度末から組織運営の見直しを始動した。本会を設立して14年が経ち目の前の子ども課題に向き合ってきたと同時に、持続可能な運営を実現するために資金調達チームを設置し協議、実働をおこなってきた。しかし、前進している実感が得られることなく終了した。

またフリースクールの助成金が終了するため、資金調達力をつけることが急務である。2023年度から

当チームにより、SNSの運用や自主事業、寄付の仕組みづくりをおこなったが、安定した運用資金の捻出方法を確立することができなかった。

## 2. 事業報告

### (1)すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

#### ◆プレーパーク事業

##### ●プレーパークわたのは

##### 【目的】

子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

	目 標	実 績	成 果
内容	<p>◎未就学児親子の新規利用や保護者、地域住民の関わる機会を増やす。</p> <p>◎プレーパークに継続的に関わり子どもを見守る目を増やしていく。地域住民が来所しやすい環境づくり。</p> <p>◎プレーパークや子どもへの理解を地域のなかに発信し、渡波地域のなかで子どもが活躍できる場を創造する。</p> <p>◎本会のビジョンに沿ったプレーパークを実施していくために、移転場所を確定する。</p>	<p>◎毎週金・土・日曜日 金/15:00~17:00 土・日/10:00-16:00</p> <p>◎体制：スタッフ2~3名</p> <p>◎ボランティア：延39名</p> <p>【イベント】</p> <p>①秋祭り(10月) 子ども61名、大人52名、計113名 イベント協力者：約20名</p> <p>②地域交流イベント げっぶ大会 参加：8名 ガチ勢！かくれんぼ 参加：10名 書初め大会 参加：15名以上</p> <p>【地域連携】</p> <p>①地域子ども食堂(9月より/6回) 参加：延217名以上</p> <p>【移転計画】</p> <p><b>別紙『ごちゃまぜプロジェクト』参照</b></p>	<p>【イベント】</p> <p>◎秋祭り：渡波地区まちづくり協議会と『地域子ども食堂』を協働開催。多世代がプレーパークで交流する機会となった。</p> <p>【地域連携】</p> <p>◎まちづくり協議会との協働企画『地域子ども食堂』は地域住民と子どもをつなぐことを目的に実施したが、地域の民生委員と子どもがつながるきっかけとなることを実感した。</p>
開催回数	140回	150回	
利用人数	子ども延3,000名、 大人1,200名（内、秋祭り150名）合計:4,200名	子ども延2,935名 大人延811名 合計:3,746名	

#### 【活動紹介写真】



【課題】

- ・未就学児親子や地域住民の来所が激減している。

●プレーパーク“ひがこー”

【目的】

子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

	目 標	実 績	成 果
内容	◎安定的にスタッフとボランティア、保護者で開催していくために関わる大人を増やす。 ◎プレイワークを取り入れた考え方の理解者を増やし、地域での子どもを見守る目を増やす。	◎水曜日 15:00-17:00 (冬季15:00-16:30) ◎体制：スタッフ1名 ◎ボランティア：27名 【環境整備】 ・倉庫内整理（通年） 【イベント】 ・鹿妻地区夏祭り(8月) 【広報】 ・1日ひがこーチラシ配布	◎スタッフ一人開催となったため、火おこしや大工道具使用に制限を設けざるを得なかった。 その際、子どもから上記をおこないたいという声が多数上がり、ニーズの多さを実感した。
開催回数	50回	49回	
利用人数	子ども延1,100名、 大人延300名 合計延1,400名	子ども延872名（前年比-77名） 大人延173名（前年比-62名） 親子延47組（前年比-74組） 合計：1,045名	

【活動紹介写真】



【課題】

- ・継続ボランティアの確保と人材育成。

◆フリースクール事業

●フリースクール“ほはっく”

【目的】

安心して過ごせる居場所や、「やってみたい」を実現できる環境をつくり、学校に行けない子どもが、社会の中で自立するためのサポートをおこなう。



	至らない親御さんと繋がり続ける		
開催回数	170回 (上期週3回、下期週4回)	152回	
登録者数	54名(+新規10名)	56名(新規17名)	
利用人数	延2,000名	延べ1,691名	

【活動紹介写真】



【課題】

- ・利用希望者が毎年増加したため、非常勤を1名雇用した。しかしさらに受け入れ体制を整える必要性がある。

◆放課後児童健全育成事業

●渡波地区第一第二放課後児童クラブの委託運営

【目的】

子どもの主体性を尊重し、子どもが安心して過ごせる場(人・居場所)を地域と共に作ることで子どもが笑顔になる

	目 標	実 績	成 果
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子どもの権利・子どもの主体性が尊重され、安心安全に過ごすことができる環境を児童クラブ内で整える。</li> <li>◎児童クラブが一翼となり、児童クラブ・学校・行政・地域と連携し、切れ目のない支援を実現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎平日・月1回土曜日：253日開所 通常：13:00～18:00 1日開所：8:00～18:00</li> <li>◎体制：スタッフ9名 ・避難訓練：5回 (地震津波3回、不審者対応1回、火災対応1回)</li> <li>◎コア会議：12回</li> <li>◎ケース会議：4回</li> <li>【子ども】 ・土曜日スペシャルデー：10回 料理・お出掛け・実験等</li> <li>・子ども企画：9回 バイブレード大会、ゲーム大会、肝試し等</li> <li>・子ども会計：5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子ども会計やお手紙BOXなどの仕組みを導入し、子ども一人ひとりが自分の気持ちを表現し、主体性を発揮できる環境づくりを推進。</li> <li>◎保護者参観を実施し、保護者が子どもの様子を直接見る機会を設け、安心感の向上に努めた。</li> <li>◎外遊びを重視し、身体活動・友だちとの関わり・自然とのふれあいを通じた多様な体験を保障するため、時間を確保。</li> <li>◎学校連携・活動展開を目的に体育館利用を仕組み化。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手紙 box : 15 通</li> </ul> <b>【保護者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者説明会（参観） : 3回</li> <li>・保護者アンケート : 2回</li> <li>・児クラだより : 月1回、週1:46回、番外編:8回</li> </ul> <b>【地域(学校)連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校子どもに関する情報共有、施設利用（体育館8回）遊具他</li> </ul> <b>【スタッフ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修:16回 健全育成論、チャイルドファシリテーター講座、他団体との合同研修他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎外遊びに伴うリスクに対し、スタッフ間でのケース会議や振り返りを通じて安全面の改善に取り組んだ。</li> <li>◎発生したケガなどの事象について、スタッフだけでなく子どもとも共有・振り返りを行い、学びや成長につなげる実践を行った。</li> <li>◎コアメンバーの確立。</li> <li>◎中期計画、単年度事業計画の振り返り作成。</li> </ul>
開催回数	255回	253回	
登録者数	-	114名→93名 最大 : 120名	
利用人数	-	延16,259名（平均64名/日）	

**【保護者アンケート結果】**

	9月	3月
5（満足している・期待以上である）	16.5%	17.5%
4（概ね満足している）	39.2%	47.4%
3（とくに不満・心配なことがない）	27.8%	24.6%
2（良かったこともあるが、不満・心配なことが多い）	15.2%	10.5%
1（不満・心配なことしかない）	1.3%	0.0%

**【課題】**

- ・病欠等の欠員が生じた場合、スタッフ補充が他事業スタッフとなる。
- ・子どもから「やってみたい！」という企画の声を、ゆっくりと聞ける人員の余裕が必要。
- ・地域資源の活用。

**◆地域・民間団体との連携事業**

**●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会**

**【目的】**

石巻全域の子どもが、自らの足で出向ける場所にプレーパーク（居場所）があり、地域で子どもを見守る体制を構築することで、子どもの孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくり

	目標	実績	成果
内容	◎6年後までに、石巻市内	◎定例会議 : 12回（事業計画や事業の	◎移動児童館のサポートにより、

	<p>13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目指し、構成団体や地域住民と連携して、子どもの居場所を増やす。</p> <p>そのために、子どもや保護者の声を行政に届ける。</p>	<p>振り返りなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会：7月</li> <li>・あそび場めぐり：7回 遊び場をめぐり来所者と交流</li> <li>・こどもセンターらいつ移動児童館サポート 他</li> </ul>	<p>石巻市役所との関係構築が深まった。</p>
--	--	--	--------------------------

【課題】

- ・活動から成果につながるための事業見直しの検討

●渡波中学区WWI(わっしょい渡波委員会)

【目的】

渡波中学校区の子どもが地域で見守られ、安心して暮らせる地域をつくる

	目標/計画	実績	成果
内容	<p>&lt;目標&gt;</p> <p>◎渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは地域で見守り育てる」を合言葉に渡波地区の任意団体として地域活動や学校行事お手伝いなどおこなう。</p>	<p>◎スタッフ1名配置</p> <p>◎定例会議6回</p> <p>【自主活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿妻夏祭り(8月) 参加者：200名以上</li> <li>・肝試し大会 鹿妻小学校(10月)</li> </ul> <p>【地域活動への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡波夏祭り（8月）</li> <li>・渡波中学校植樹祭（9月）</li> <li>・渡波中学校バザー（10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成メンバー：28名 各校校長・教頭・教員、PTA会長、民生委員、石巻市社会福祉協議会、民間団体など。</li> <li>・地域のなかでWWIの活躍の場が増え、各学校からの認知度が少しずつ増えてきた。</li> </ul>

【活動写真】



●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目的】

教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる

	目 標	実 績	成 果
内容	◎不登校支援団体や議員を含む市民が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう。	◎定例会議：9回（事業計画、事業振り返り他） 【自主事業】 ・みやぎ居場所マップ作成	◎みやぎ居場所マップが完成し、各自治体に配布。相談窓口や児童生徒の受入れ施設（官民）が可視化され、支援につながる可能性が広がった。

### ●まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク

#### 【目 的】

石巻市内の不登校児童生徒の孤立をなくし、一人ひとりが心と居場所の安定を図ることで自己の未来を切り開く

	目 標	実 績	成 果
内容	◎多様な学びの選択肢の必要性に関する理解者を官民が連携して増やす。 ◎「不登校は問題行動ではない」「居場所の必要性」について理解者を官民が連携して増やす。 ◎構成メンバー：15名	◎定例会議：10回 ◎『不登校』シンポジウム関連の会議 【主催イベント】 ・『不登校』シンポジウム(12月) 来場者数：45名 属性：当事者、教育関係者、社会福祉協議会、支援団体など 会場：石巻市ささえあいセンター大ホール	◎構成メンバー：8名 ◎不登校シンポジウムでは、元『不登校』生徒が登壇し、学校に行かない時の心境を話したことで参加者にその心理を伝えることができた。 また、全国の『不登校』に関する制度を伝えることで、石巻市との支援への意識の格差を伝えられた。

#### 【活動写真】



## (2)子育てサポート事業

### ◆子育て相談

	目 標	実 績	成 果
内容	・子ども相談、子育て相談を受け入れ、孤立し悩む子どもや保護者の心のケアを行う。	・面談または電話による相談窓口（事前予約制）	・相談を受けれる担当者が現場にでないことが多かったため「ながら相談」が減少した。 ・専門機関からの相談や、連携が

相談 件数	子育て相談：90件 子ども相談：30件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談：延10件</li> <li>・子ども相談：延8件</li> <li>・社会福祉協議会/子ども支援者からの相談：延3件</li> <li>・専門機関との連携：延3件</li> </ul>	おこなわれた。
----------	------------------------	--	---------

【課題】

- ・子育て相談の人材育成

(3)自然体験プログラム事業

2024年度は実施なし

(4)前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

◆啓発事業

●講師派遣

- ・東ロータリークラブ：5月/田中
- ・NPO法人うみねこ「あそびの出前」：8月/田中・千葉
- ・NPO法人ベビースマイル石巻・移動児童館：8月,2月/田中
- ・ソロプチミスト例会にて活動報告：田中
- ・岐阜県子ども支援ネットワーク形成研修：2月/田中
- ・南ロータリークラブ：3月/田中
- ・J-WAVE出演：3月/田中
- ・はぴはぴ講座(子どもセンターらいつ)：3回/6,10,1月/石巻市



◆情報発信事業

- ・こどばにー活動報告会“こどもみらいず”（2回）：3月/石巻市・オンライン
- ・会報誌“だんごむし”：4回発行 各800部
- ・ブログ/SNS（Facebook、Twitter、Instagram）：週1～2回程度配信
- ・ラジオ石巻：2回
- ・メールマガジン（12月より実施）：5回/月1回程度配信

◆人材育成事業

●事業運営スキル向上のためのスタッフ研修

- ・市内の子ども支援団体視察（2か所）：4月/石巻市/2名
- ・救命救急講習：6月/全スタッフ
- ・ケース事例検討会：6月・7月・9月/児童クラブ
- ・衛生、アレルギー、感染症研修：7月/児童クラブ
- ・リスクマネジメント研修・エピペン研修：7月/児童クラブ
- ・フリースクールだいと視察：7月/仙台市/1名
- ・健全育成論・個別援助技術：9月/仙台市/1名

- ・アドボケイト養成講座【基礎編】：9月・10月/オンライン/1名
- ・児童館論Ⅰ：10月/仙台市/1名
- ・ケガ・トラブル対応振り返り研修：10月/児童クラブ
- ・チャイルドファンシリテーター講座：10月/全スタッフ
- ・地域福祉論、児童館論Ⅱ：11月/仙台市/1名
- ・オープンダイアログ：10月/石巻市/1名
- ・アドボケイト養成講座【実践編】：11月・12月/仙台市/1名
- ・子どもを真ん中にする保護者との関わり：12月/登米市/1名
- ・児童虐待研修：12月/児童クラブ
- ・プレーリーダー研修：1月/仙台市/1名
- ・LFA居場所視察研修：1月/東京/3名
- ・GS研修『行政との協働を実現する』：1月/東京/3名
- ・GS基金ラボ①『自治体との対話のコツって?』/2月/オンライン/1名
- ・振り返り研修：3月/石巻市/児童クラブ
- ・プレーパーク視察研修（2か所）：3月/東京/1名

#### ●組織運営に関する研修

- ・子どもサポート基金組織力強化セミナー：11月/仙台市/2名
- ・認定NPO法人申請・更新講座：2月/仙台市/1名

#### ●外部人材育成

- ・ボランティア：延べ101名
- ・中堅教員研修：2名
- ・まきボラ受け入れ

### (5)その他、本会の目的を達成するために必要な事業

#### ◆主たる活動地域内

- ・渡波小学校コミュニティー・スクール運営委員：佐藤
- ・鹿妻小学校コミュニティー・スクール運営委員：千葉
- ・渡波中学校コミュニティー・スクール運営委員：田中
- ・渡波地区まちづくり協議会：田中

#### ◆石巻市内

- ・石巻市都市計画審議会：石巻市/田中
- ・石巻市地域福祉推進委員会：石巻市/田中
- ・石巻市不登校支援関係機関懇談会：石巻市/田中
- ・石巻市スクールソーシャルワーカー連絡会議：石巻市/田中
- ・石巻市子どもの居場所懇談会：石巻市/田中
- ・NPO法人にじいろクレヨン理事：田中
- ・NPO法人子どもにやさしいまちづくり理事：田中 など
- ・チャリティ絵画展&あーとわーくぱーく（3月）

開催日：3月7日～9日

会場：いしのまきマルホンまきあーと 小ホール&ホワイエ

来場者：延1,200名以上

絵画売上げ金額：6,820,000円 うち11%が本会に寄付

◎本会への寄付

絵画売上げ：780,200円

募金箱：98,777円

出店料：50,888円

**計906,665円**

◎能登半島の子ども支援団体に寄付

絵画売上げより68,200円

募金箱：83,050円

出店者からの寄付：27,568円

**計178,818円**



### 3.事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者	受益者	事業費(円)
① すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー	金・土・日曜 水曜	渡波 鹿妻	4名 1名	幼児 ～高校生 延べ5,498人 地域住民 延べ1,068人 (351回)	12,230,181
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく	火・木・金曜	鹿妻	3名		
	地域・民間団体との連携事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・渡中学区WWI ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク	月1回～2回 月1回程度 月1回 月1回	石巻市内 石巻市内 宮城県内 石巻市内	2名 1名 1名 1名	-	
	放課後児童健全育成事業 ・渡波地区第一・第二放課後児童クラブの受託運営	月～金 土/月1回	渡波小学校 敷地内	10名	小学生 延16,214人 (255回)	
② 子育てサポート事業	子ども相談・子育て相談	随時	石巻市内	1名	延55件	238,008
③ 自然体験プログラム事業	未実施	-	-	-	-	-

④前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材	啓発事業 ・講座/研修/講演会への講師派遣 情報発信事業 ・会報誌"だんごむし" 発行など 人材育成事業 ・事業運営スキル向上のための研修 ・組織運営のためのスタッフ研修 など	各通年 (年20回程度)	宮城県内 石巻市内	3名 7名 10名 6名		1,828,779
⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業	主たる活動地域内 ・渡波/鹿妻小学校CS運営委員 ・渡波中学校CS運営委員 ・石巻市都市計画審議委員会 ・石巻市社会福祉推進委員会 ・NPO法人子どもにやさしいまちづくり理事 ・NPO法人にじいろクレヨン理事 など		石巻 市内	各1名 1名 1名 1名 1名 1名	-	2,247,587

(1) 会議に関する事項

理事会の開催：通常 4 回、臨時 1 回 計 5 回

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り

代表理事：田中雅子

常勤スタッフ：4 名

非常勤スタッフ：11 名

(3) 組織基盤強化への取り組み

グッドガバナンス認証（第二回継続申請）2023 年 1 月 27 日認証

(4) 正会員・継続サポーター

① 正会員 34 名（前年+6 名）

② 継続サポーター 102 名（前年+10 名）

(5) 地域社会や他団体との連携について

宮城県教育委員会義務教育課・生涯学習課、宮城県東部教育事務所、宮城県東部児童相談所、石巻市福祉部子育て支援課・保育課、石巻市都市計画課、石巻市建築指導課、石巻市総合相談センター、石巻市教育委員会、石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク、(特非) ベビースマイル石巻、(特非) TEDIC、(特非) にじいろクレヨン、(特非) 子どもにやさしいまちづくり、(一社) プレーワーカーズ、(一社) フリースペースつなぎ、(特非) まきばフリースクール、(一社) フリースペース道、ふふふはうす など連携団体は多数